

## 農山漁村活性化プロジェクト支援交付金交付対象事業別概要

計画主体名	計画期間
とちぎけんおやまし 栃木県小山市 だいひょうとちぎけん (代表)栃木県	平成20年度から平成24年度

<連絡先>

担当課	電話番号	FAX番号	メールアドレス
小山市経済部農村整備課	0285-22-9264	0285-22-9258	nousonn14@city.oyama.tochigi.jp
栃木県農政部農村振興課	028-623-2363	028-623-2337	

【記入要領】

計画主体名

- ・市町村名にはふりがなをふること
- ・共同で作成する場合は、すべての計画主体を掲げるとともに、代表となる計画主体には(代表)と記載する。

計画期間

- ・計画期間は活性化計画の計画期間を記入すること。

連絡先

- ・共同計画の場合は行を追加し、全ての計画主体の連絡先を記入すること。

メールアドレス

- ・当該交付金に係る連絡に利用できるメールアドレスを記入すること。

# I 事業活用活性化計画目標

事業活用活性化計画目標	増加率等	増加率等の算出
	9 定住等の促進に資する農業用排水施設等の機能の確保	
事業活用活性化計画目標の設定根拠		
<p>当地区は、水稻・白菜・とまと・きゅうり等の穀物及び野菜の生産が盛んであるが、地域内の道路の大半は土砂道である。本計画農道の整備により、圃場から集落への生産物の運搬、集落から圃場への生産資材の輸送に著しく支障をきたしている。</p> <p>農道の整備により、条件整備され機能が確保された農地が増加することによって、効率の良い作業形態を確立し、農業生産性を向上させることにより農業所得を増加させて、農業従事者の意欲を向上させて安定した農業経営の持続を図る。これらの効果により農家人口、総人口の減少を抑制し、当地域の定住化を促進する。</p> <p>横倉東地区 A=19.9ha  田間地区 A=6.7ha  雨ヶ谷地区 A=63.9ha</p> } 90.5haとなります。		

事業活用活性化計画目標	増加率等	増加率等の算出
	10 定住等の促進に資する基盤整備の円滑化	
事業活用活性化計画目標の設定根拠		
<p>地区のほとんどは水田地帯であり、昔から水稻栽培が盛んだが、近年は生産調整による転作作物として、白菜・レタス等の栽培が増えて来ている。新4号線を利用したの首都圏等の消費地への農産物の搬送力アップによる生産力の向上が期待できる。このような現状を鑑み、区画整理を行い疎らな農用地の集積化・集団化を行う事で、農作業の効率向上、農業後継者の農業に対する意欲の増進や担い手への農地集積を進め、農業従事者の安定化を図る為、経営体育成基盤整備事業を平成24年度より実施する予定であり、着手前に地形図作成及び経営体育成促進換地等調整事業を行う事により経営体育成基盤整備事業の円滑な実施を図る。</p>		



Ⅲ 優先枠等を活用する事業に関する事項 … 該当なし

(交付対象事業別概要)

1 生産製造連携事業計画優先枠

優先枠の種類	事業メニュー名	地区名	優先枠に係る事業内容
1 生産製造連携事業計画優先枠			

2 再生可能エネルギー供給施設整備優先枠

優先枠の種類	地区名	優先枠に係る事業内容
2 再生可能エネルギー供給施設整備優先枠		

3 輸出促進条件整備事業

優先事項の種類	事業メニュー名	地区名	優先事項に係る事業内容
3 輸出促進条件整備事業			



